

平成 30 年度事業報告

1 事業の総括

平成 30 年度の活動方針を「地域住民が主体となって地域課題に取り組む社会教育～地域の特色を生かしたプラットフォームの構築を目指して～」として取り組んできた。

8 月には、「地域の人材育成やプラットフォームの在り方」についての講演会を行い、12 月には実践発表や「地域づくりと生涯学習について」の講演会を開催した。また、各地区の研修会でも同じ活動方針のもと同様の取組を行い、各地域に「プラットフォーム」の考え方についての共通理解を図ってきた。

そのような中、第 48 回九州ブロック社会教育研究大会熊本大会の分科会において、本県から小林市社会教育委員の会会長 西誠氏が「ふるさとに学び、ふるさとに自信と誇りをもつ子どもを育てる」と題し、地域の資源を活かした子供の健全育成について発表を行い、本県の目指す社会教育やプラットフォームの姿を示していただいた。

その他、「社教情報」の購読の推進については、総会や会報の中で、購読を勧めたことで、新規に注文を行う自治体も増え、平成 30 年度発行の 2 号とも注文数が 200 冊を超え、資質の向上に役立てることができた。

一方、ここ数年「家庭の日」の推進を実践事項に掲げているところであるが、まだ十分浸透するには至っていない。

2 事業報告

(1) 理事会および総会・研修会

【第 1 回理事会】

- 期日・会場 平成 30 年 5 月 31 日（木） 県庁 4 号館 入札室

【総会及び研修会】

- 期日・会場 平成 30 年 8 月 1 日（水） 県立図書館
- 講演 講師 宮崎大学 地域資源創成学部 学部長 教授 吉田雅彦
演題 「地域の人材育成やプラットフォームはどうあるべきか、社会教育に求められること」－地方創生との関連で－
- 参加人数 関係市町村から 48 名

【第 2 回理事会】

- 期日・会場 平成 31 年 2 月 7 日（木） 県庁 4 号館 委員会室

(2) 宮崎県社会教育委員研究大会

- 期日・会場 平成30年12月7日(金) 県立図書館
- 講演 講師 宮崎大学 地域資源創成学部 教授 根岸裕孝
演題 「地域づくりと生涯学習」
- 発表 発表者 宮崎市社会教育委員 鬼束裕治
発表題 「地域の資源を活かして 自然・人・子どもをキーワードに」
- 参加人数 関係市町村、関係団体、県社会教育委員、教育委員 120名

(3) 会計監査

- 期日・会場 平成31年3月19日(火) 県庁4号館 教育共用会議室

(4) 第48回九州ブロック社会教育研究大会熊本大会

- 期日 平成30年10月18日(木)～19日(金)
- 研究主題 夢や希望 「あふれる思い」ば、かたらんね！
～社会教育でつながる九州の絆～
- 参加人数 本県から94名

(5) 第60回全国社会教育研究大会青森大会

- 期日 平成30年10月24日(水)～26日(金)
- 研究主題 「課題をチャンスに 持続可能な未来を創る社会教育の実践を」
- 参加人数 本県から3名

(6) 「家庭の日」の推進

- 第3日曜日は「家庭の日」であることの普及啓発に努める。
- 宮崎家庭教育支援条例をもとに、家庭の役割について周知に努める。
→ 総会において、それぞれの社会教育委員が自らできることを実践し、次回の総会において活動内容を報告していくことを提案、了承された。

(7) 地区別研修

- 各地区の計画により実施

(8) 広報、情報提供等

- 会報の発行による情報提供(年2回発行:10月、2月)
- 「社教情報(全社教連発行)」購読推進
・79号(215冊) ・80号(212冊)
- 「社教連会報(全社教連発行)」の配布(9月、2月)